

令和3年度内閣総理大臣賞受賞者受賞理由概要
園芸部門

「島根ブランド」を核に官民共働で飛躍・発展するアジサイ産地

○氏名又は名称 島根県アジサイ研究会（代表 多久和 敏男）

○所在地 島根県出雲市

○出品財 経営（鉢花アジサイ）

○受賞理由

・地域の概要

出雲市は、島根県中東部に位置する。島根県は、中国山脈の日本海側に位置し、東西に長い地形である。県内の多くは水稲単作だったが、ほ場整備による排水環境の改善で、野菜、花き等の栽培が可能となった。花きでは、冬のシクラメンを基幹品目とした鉢花経営が行われている。

・受賞者の取組の経過と経営の現況

春季の新たな品目として平成17年に一部の生産者がアジサイの試作栽培を開始。平成22年には、生産者と県が一体となった「島根県アジサイ研究会」を組織。オリジナル品種を活かした的確なブランディングによりすべての市場出荷で値決めによる予約販売を実施し、冬のシクラメン等と合わせた高収益な花き経営を実現。

・受賞者の特色

（1）県農業技術センターと連携したオリジナル品種の育成とブランディング

研究会は、県育成品種の生産を担い、ブランディング技法による販売を実践している。具体的には、品種育成の過程から試作栽培を行い購買層に相応しい鉢花（商品イメージ）を創出。育成後は、新品種コンテストに出品し、客観的な評価を付与することで有利販売を実現。市場投入したオリジナル品種の「万華鏡」、「銀河」はコンテストで最高賞を受賞し、母の日には欠かせない商品としてのポジションを確立している。

（2）専門班による意欲的かつ創造的な活動

研究会は、4つの専門班を設置し独創的かつ自律的な取組みを行っている。品種ごとのマニュアル作成、現地検討会等による栽培技術の高位平準化（技術・マニュアル班）。出荷規格統一、検査員制度等による品質向上と均質化（トレーサビリティ・検査員班）。オリジナル品種を活かしたブランディングと統一した販売促進活動（規格・ブランディング班）。SNSを利用した会員相互の情報交換と顧客対応（IT班）。これらの取組の成果により、市場では他産地と比較して2～3倍の平均単価で取引されている。

・普及性と今後の発展方向

公的機関と生産者との連携による品種育成、品質管理、ブランド構築等の産地育成・発展というプロセスは、花き以外の品目でも高い普及効果が期待される。今後は、研究会の法人化や後継者育成、更なる産地強化に取り組むこととしている。